

第98回 経営協議会議事録

日時 令和3年3月29日（月）13時00分～14時40分

場所 和歌山大学南1号館（事務局棟）3階共通会議室

出席者 伊東学長

熊谷委員、島委員、下委員、清木委員、田村委員、辻委員、西平委員
永井、恵下、藤本、松谷、山本 各理事

（松原監事、柏原監事、添田副学長、クパニ副学長、足立副学長、本山教育学部長、マグレビ経済学部長、宗森システム工学部長、尾久土観光学部長、橋本企画課長、南方総務課長）

欠席者 森田委員

学長から、第96回（11月30日）及び第97回（2月12日書面審議）の議事録について確認があった。

議題

1. 令和3年度国立大学法人和歌山大学年度計画（案）について

松谷理事から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

（主な質疑）

・観光系の専門職大学院を設置する構想があるとのことであるが、現在の大学院と何が違うのか。また、新たに実務家教員を採用する予定であるのか。

→地域の観光関連の事業をコーディネートできる人材を育成することを検討している。地域の自治体や企業等と連携した実践的な教育を行うことで専門職業人を育成することを考えている。設置にあたっては、実務経験のある教員を新規で採用することも検討している。

・オンライン授業の有効性の評価は行っているのか。学生の成績評価は、教員個人に任せているのか、大学全体及び学部として評価を行っているのか。

→今年度は、第1クォーターは全て遠隔授業で実施し、第2クォーター以降は、実験や実習など対面での実施が必要な科目については、感染防止対策を講じて対面での授業を実施してきた。成績評価については、全学で統一基準を設けており、それに基づき評価を行うとともに、その結果を教育改善推進専門部会において検証している。

（主な意見）

・教育学部の学生の和歌山県教員採用率が低い。学内でクローズしない学びの中で、タフで情熱を持って教育に携わる学生を育て、和歌山県の教員として活躍できる人材を多く育成していただきたい。

2. 和歌山大学学則の一部改正について
永井理事から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、了承した。
3. 令和3年度当初予算(案)について
藤本理事から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、了承した。
(主な質疑)
・「成果を中心とする実績状況に基づく配分」における偏差値は、55大学の中での偏差値なのか。また、この偏差値は文部科学省が算出している数値なのか。文部科学省が示している数値であるのであれば、学内予算にどれだけ制約を受けるのか。
→55大学における偏差値として文部科学省が算定したものである。文部科学省が各大学への予算配分において、その偏差値に基づき額を算定しており、学内における予算の配分方法や額については、大学の裁量に委ねられている。
・経営資金の獲得について学外からどのように資金を調達することを考えているのか。その戦略はあるのか。
→外部資金の獲得が思わしくないのは、和歌山大学の活動が地域に見えていないことが一つの要因であると理解しており、令和2年4月に学長直轄の紀伊半島価値共創基幹を設置し、地域との連携強化を目指し、学長及び理事が和歌山県下の30市町村を回り広報活動を行ってきた。また、ロータリークラブやWakayama T&Mなど各種団体の会合において和歌山大学の取組を紹介させていただくなど、和歌山大学の活動を理解いただく努力も行ってきたところである。それらの成果として、企業からいただく寄附も増えてきており、それを財源としたトイレ改修など学内環境整備も進めてきた。今後も、学長、理事、副学長、学部長を中心に、教育研究にかかる社会への働きかけや広報活動の更なる充実を図っていく所存である。
・若手教員比率が低いのは何が問題なのか。
→第3期中期計画において、人件費6%減の目標を掲げており、教職員の数は減っているものの、人事院勧告等により教職員給与が増えてきており、厳しい予算の中で、新規教員の採用が進んでいないという現状がある。第4期中期目標期間に向けては、テニユア・トラック制度による若手教員の積極的な採用などを検討している。
4. 国立大学法人和歌山大学教職員退職手当規程等の一部改正について
松谷理事から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

5. 次世代教育推進室の設置に伴う関係規則の一部改正について

学長及び松谷理事から、資料5-1及び資料5-2に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

報 告

1. 令和3年度入学者選抜試験（一般選抜）の志願状況について

学長から、資料6に基づき説明があった。

2. その他

・学長から、3月25日（木）に和歌山市民会館にて学位記授与式が举行され、1,128名（学部生914人、大学院生214名）の学生が卒業した旨の報告があった。また、4月5日（月）には、和歌山市民会館にて入学式を行い、新入生のみならず、昨年度、コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の中で、入学式ができなかった新2年生向けにも入学式を举行する予定である旨の報告があった。

最後に、学長から、今年度末をもって退職や役職交代する理事、副学長及び学部長の紹介があり、それぞれの者から挨拶があった。

以 上